

## 令和2年度第2回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会議事録

### 1. 会議の名称

令和2年度第2回我孫子市農業拠点施設指定管理者選考委員会

### 2. 開催日時

令和3年3月25日（木）13:30～15:00

### 3. 開催場所

我孫子市手賀沼親水広場 水の館3階研修室

### 4. 出席者

#### 【選考委員】

上村文明委員長、新保美恵子副委員長、嶺岸勝志委員、工藤文委員、須田隆弘委員  
（欠席）檜崎容子委員

#### 【指定管理者 株式会社あびべジ】

大炊三枝子代表取締役、鈴木康仁取締役

#### 【事務局（農政課）】

松本清課長、秋田芳博課長補佐、斎藤寿義主査長、小澤俊輔主任、西田集主任主事

### 5. 議題

令和3年度事業計画書と収支計画書の承認について

### 6. 公開・非公開の別

公開

### 7. 傍聴人及び発言者の数

1名

## 8. 会議概要

令和2年度の運営状況について事務局から選考委員会に報告し質疑応答した。また、令和3年度の事業計画と収支計画について、指定管理者の株式会社あびベジが事業説明を行い、選考委員からヒアリングを行った。令和2年度の運営状況に関する質疑応答と指定管理者のヒアリングの内容は以下のとおり。

- A 委員) まず、令和2年度の運営状況報告に対して、委員から事務局に質問はありますか。
- B 委員) コロナ禍の影響があったかと思いますが、結果が出ていますので努力が実ったものと評価しています。質問はありません。
- C 委員) 昨年度は役員が現場に入って人件費を抑えている状況があったが今年度は解消されてきたという報告がありましたが、現状どの程度なのでしょう。
- 事務局) 昨年度はほぼ毎日現場に入っているような状況がありましたが、休みを定期的にとれるようになり、現場に入る回数もかなり少なくなっています。
- A 委員) 前年度に比べて給食の収支実績が下がっている理由は何でしょうか。
- 事務局) 4月、5月に小中学校が休校していたことやトウモロコシの皮むき体験などの農家が児童とコミュニケーションを取りながら行っていた食育事業が新型コロナウイルス拡散防止の観点から行われなかったことが大きく影響しています。
- D 委員) 飲食部門について、売上が減少しているなかで原価が計画比で132.1%となっている理由は何ですか。
- 事務局) 4月にコックレス化を図ったことに伴い、調理研修で食材を使用したことやコロナ禍の影響が特に大きかった年度当初はロスも多く出てしまったことが影響していると思います。
- A 委員) ありがとうございます。では本日の議題である令和3年度事業計画書と収支計画書の承認に移りたいと思います。まずは株式会社あびベジさんからご説明いただきます。事務局はあびベジさんをお呼びください。

(あびベジ入室・あびベジから令和3年度事業計画の説明)

- A 委員) ありがとうございました。それではヒアリングを行いたいと思います。質問のある委員はお願いします。
- C 委員) 私からは2点聞かせてください。1点目は、新たな取り組みとして農協観光のOBさんの協力を得て収穫体験や地元農産物を使った昼食などを行うイベントを検討しているということですが、現時点で決まっている範囲で内容を教えてください。
- あびベジ) 春先から種まきを行いたいと考えており、水の館周辺の土地所有者に交渉している状況です。2軒断られてしまい、明日3軒目にあたる場所ですが、なんと

か進めていきたいと考えています。

C 委員) 作物の選定や具体的な日程などは土地が決まってからということですか。

あびベジ) そうです。

C 委員) わかりました。2点目は収支計画について、米舞亭を人件費削減のためにコックレス化したけれども見込んでいたほど削減できなかったとのことですが、その原因は何と分析していますか。

あびベジ) 月額150万円程度の売上を見込み、そこから逆算して計上していましたが、実際には新体制にスタッフが慣れるまでにシフトを多く入れたり、客数が多い時期は想定よりも人を多く配置しなければならなかったりして、当初の見込みに甘いところもあり、思ったほどは削減できませんでした。それでもシェフを正社員として雇用していた昨年度に比べれば削減できています。

C 委員) 売上から逆算していたということですか。

あびベジ) 売上計画に合った人員を配置していこうとしましたが、実際にうまくいかず、3年度は2年度の実績を考慮し修正しています。

D 委員) 私からも2点確認させていただきたいと思います。1点目は、学校給食に関して4月から1校増えて市内19校中16校を対象にするということで、努力の成果だと思いますが残りの3校の今後の見通しはいかがでしょうか。

あびベジ) 残りの3校は、根戸小、我孫子中、湖北台中で、いずれも児童数が多い学校です。直売所で販売する農産物も確保しなくてはならないなかで、現在は供給量の問題から対応が難しい状況です。

D 委員) 分かりました。市内の子どもたちへの食育、地産地消のために今後も増加に努めていただければと思います。2点目は、広告宣伝費が令和2年度から半減していますが、やり方次第で広告はとても効果的だと思いますし、これまでもあびこん通信などの取り組みがあったかと思いますが、削減した理由を教えてください。

あびベジ) 令和2年度の広告宣伝費のなかにはスタッフの募集広告費用が含まれており、令和3年度はスタッフの数が確保できたのでその分減額しています。また、令和2年度はコロナ禍のため、年末年始のイベントの新聞への折込チラシを自粛しました。社会情勢次第では実施する可能性もありますが、令和3年度も実施しない予定で減額しています。一方で、SNSを活用したPRは強化していきたいと思っています。

E 委員) 飲食部門について、計画に季節毎にメニューの追加や切り替えを行うとあり、今年度もいろいろなメニューを提供されていたと思いますが、シェフがいない状況でどのようにメニュー開発を行っているのでしょうか。

あびベジ) 昨年の4月にスタッフを募集したときに、ホテルの調理場で30年勤めていた人を雇用することができ、現在はその人を中心に考案しています。

E 委員) コロナ対策として手指消毒用のアルコールの設置やマスクの着用などを呼びか

けていると思いますが、スーパーなどでは1回使用した買い物カゴは回収して消毒した後に戻すなどの対策もしています。そこまでの対応は、従業員の規模から難しいかもしれませんが、できる限り配慮してほしいと思いますがいかがでしょうか。

あびベジ) 1回使用する毎にとまではできていませんが清掃スタッフが消毒しています。

B 委員) 昨年度より収支が良くなっており努力に敬意を表します。計画の「はじめに」で記述されているように農業者の高齢化が深刻化しているなかで、農業体験などを通じて市内外の消費者を取り込んでいくことが、担い手の確保や観光、食育の推進などに向けて今後必要になってくると思いますので、今後の取り組みに期待しています。

A 委員) 学校給食を通じた食育はとても意義があることだと思います。改めて確認ですが19校中16校で全校に供給できないのは供給体制の問題で、人材がもっと必要ということですか。

あびベジ) 例えば、ある1校から小松菜の注文があれば、1軒の農家の小松菜で対応しています。それは複数の農家から供給すると出来に若干の差があり、学校側が調理しにくいという問題が生じるからです。1軒の農家で集めることがマンモス校は特に難しくなりますので、そうした事情から現状では増やせないというところでは。

A 委員) では3校は給食を通じた食育を受けていないということですか。

事務局) 補足させていただきます。残りの3校について、あびこんからの定期的な供給はできていませんが、代わりに地域の農家さんと学校が個別に契約して定期的に我孫子産野菜が供給されています。また、契約農家が対応できないときなどは、あびこんが臨時でスポット対応しています。なので、残りの3校でも我孫子産農産物は学校給食で定期的に使用されています。

A 委員) 分かりました。

SNSの活用を進めていきたいということでしたが具体的には何かありますか。

あびベジ) これまではフェイスブックとツイッターを中心に発信していたのですが、若い世代は主にインスタグラムを利用するというので、新たにインスタグラムを開設します。

A 委員) 若者はインターネット上の情報を見てから来ると思うので大いに若者向けにやってほしいと思います。次に、令和3年度と令和2年度の収支計画を比較すると、人件費が増えている一方で、法定福利費が減っているのはなぜでしょうか。

あびベジ) 令和2年度の計画を立てた後、正社員が4名退職しており、新規採用は1名に抑えて正社員の数を減らしたことが要因だと思います。

A 委員) わかりました。他に質問はありますか。特にないようでしたらこれでヒアリングを終了します。ありがとうございました。

(株式会社あびベジ退室)

- A 委員) それでは各委員から寸評をお願いいたします。
- B 委員) 先日、JCOM チャンネルで、我孫子市の歴史等について詳しく特集している番組をやっているのをたまたま見ました。アビシルベのセンター長が出ていましたが、あびこんに関するPRをもう少ししてほしいと思いました。こうした機会をうまく活用しPRを強化してほしいと思います。
- E 委員) 収支状況が改善したのは大変喜ばしく、皆さんが努力した結果だと思います。また、役員報酬を増やしたということですが、ぜひ金銭的にも報われるかたちになってほしいと思います。昨年はコロナの影響が大きく来年度はまた違ってくるのかと思いますが、先程仰っていたメニューの開発やスタッフの接客もよく教育されていると感じていますので、引き続き努力を続けていただき令和3年度も良い成績を出していただけることを願っています。
- D 委員) 経営が安定してきたことが令和3年度の収支計画からも読み取れます。利益には直結しない部分、食育などに経営が安定してきた余力を投じていただけると、ただの直売所、ただのレストランではない農業拠点施設の意義を市民の方々にもご理解いただけるのかなと思いますので、令和3年度も期待しています。B委員が仰っていたテレビ番組については、番組の主旨にもよるとは思いますが、アビシルベでもあびこんのPRは今後もやっていきたいと思います。
- C 委員) 売上が上がってきて本当に良かったなと思います。農業体験の新たな取り組みを始めるということで、それで農業や就農に関心を持つ人が出てくるかもしれませんし、これまで市が担ってきた機能を農業拠点施設も担えるようになってくるのはあり方として良い方向に向かっているのかなと思います。これからもそうした取り組みを発展させていくには、ベースの経営が大事だと思いますので、引き続き頑張ってくださいと思います。
- A 委員) ようやく努力に実績がついてきたことに喜びを感じています。あびベジさんの令和3年度事業計画の説明を聞いていても、自信を持たれてきているなと感じました。利益を出し続けるだけが目標ではないと思いますので、農業体験や農業の情報発信など農政課にもサポートしていただきながら、当初の目的にかなうような施設に発展していただけたらと思います。それでは、委員の皆様、事業計画について承認してよろしいでしょうか。
- 各委員) はい。
- A 委員) それでは、異議なしということで農業拠点施設指定管理者選考委員会として令和3年度の事業計画及び収支計画を承認したいと思います。それでは、ここで傍聴者の発言の機会を設けます。何かご発言はございますか。特に無いようですので、以上をもちまして令和2年度第2回農業拠点施設指定管理者選考委員会を閉会したいと思います。ありがとうございました。

以上